

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

マイクロンメモリ ジャパン株式会社 Fab15

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市吉川工業団地7番10号

(3) 業種

集積回路製造業(2814)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成15年度を基準年度とし、平成28年度の1年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量												
実績に対する 自己評価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

ウエハー投入枚数(200mmウエハー換算)

温室効果ガスの種類 温室効果ガスの種類	基準年度の 実績 (a) 基準年度の 実績 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))								
		目標 (b) 上段：目標 削減率 (c) 下段：削減	目標 (b) 上段：目標 削減率 (c) 下段：削減	平成 28年度 平成 28年度	平成 年度 平成 年度	平成 年度 平成 年度	平成 年度 平成 年度	平成 年度 平成 年度	平成 年度 平成 年度			
起源CO <sub>2</sub> エネルギー	0.28	0.18 -35.7	0.15 46.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
起源CO <sub>2</sub> 非エネルギー		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス その他	0.27	0.10 -63.0	0.09 66.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
排出量総計 温室効果ガス	0.55	0.28 -49.1	0.25 54.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	0.0988		0.0666 32.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績に対する 自己評価	前年度実績から目標設定を実施したが、生産枚数の向上とエネルギー起因CO <sub>2</sub> 削減の効果充分みられ目標達成となった。											

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	エネルギー原単位の改善	CO2排出量・ウェハ投入枚数 原単位03年度下期比55.4%	高効率CGSの稼働、生産性の向上
2	PFC使用量の削減	PFC使用量・ウェハ投入枚数 原単位03年度下期比34.7%	排ガス除害装置の積極導入及び安定稼働
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	N2使用量削減	36,602L/minに削減	プロセスにおけるN2使用量の適正（余分に流れている箇所の流量を絞るなど）
2	水使用量削減	92,132m3/年削減	CMP工程排水の回収率UPによる排水削減
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。